(1) No. 1956

NOTICIAS DE S. PAULO

(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)

3aFeira, 19 de Setembro de 1939

Sr. M. Kobayashi
R. Galvão Bueno, 407

聖市
發行所 聖州新報社
發行人 香山六郎
購讀料 一年六〇錢
廣告料 一段七二錢
郵函二七六五

NOTICIAS DE SÃO PAULO
Caixa, 2765 — Fone, 2-5655
Telegramas: "NOTICIAS"
S. Paulo — Brasil

印度の獨立を企圖するドイツ宣傳省對英工作

ソ獨合作運動具体化か

（ベルリン十八日同盟）是迄特派員、獨逸は英國が對獨抗戰を繼續する限り英國打倒の爲めに所有可能な手段を講ずる旨、豪語してゐが、其一方策として獨逸は在獨印度人に働きかけ、即度獨立運動を使嗾せんと企圖してるものの如くである、即ち十八日午後七時獨逸宣傳省は印度人をして次の如き印度獨立の放送を行なはせた

英國は印度三億の民の自由を奪ひ、是れを搾取して今日の豪奢な生活を享樂してる、印度人奥へると稱する印度議會の如きは單なる傀儡に過ぎぬ、吾々印度人は今日の歐洲危機を利用して最後の英國人が印度を去る迄、印度の自由と獨立の爲めに戰はねばならぬ。

右と同時に獨逸放送局は（スイス新聞は獨蘇兩國が對英策に協力する場合、印度に對する其影響は無視し難く、今や大英帝國は崩潰の危機に瀕してるや論じてる）と放送した、尚ほ獨乙政界はわの事實を重視し、ドイツ政府筋が漏らしてる、獨蘇兩國の世界的希望における合作運動が愈實現の第一歩に遺入りつゝあると觀てる

ソ聯軍の進擊猛然

獨ソ兩軍前線で會す

（ベルリン十八日同盟）ベルリンに達した情報によれば獨ソ兩軍の前線は十八日午前早くもブレストリトフスキーに於て相會したといはれる、此地は曾て一九一八年獨ソ兩國が歴史的講和を約した地である、今又兩國軍は此所に會し直に兩國の新行動國境確定の交渉に取掛つたと云はれる

（伯林十八日全盟）DNB通信の發表によれば十八日早朝ソ波國境全面に亘つて進擊を開始したソ聯軍は着々戰果を收めつつあり、中でもミンスク方面より西進せる部隊はニーメン河渡河戰に成功して交通の要所バラノイチエを占領した、西部ウクライナ方面作戰部隊はローノ・ドーブフノダルノボル・コロメーアを手中に納めることによりソ聯軍は早くもルーマニア、ポーランド國境の大部分を遮斷するにいたつた

（モスクワ十八日同盟）ソ聯軍司令部は十八日ポーランド國境を越えて多數兵士進入軍の戰果を左の如く公表した

一、赤軍は十八日終日ポーランド側を追擊進軍を續け、同日夕刻までには北方においては西部白ロシヤのスベンチナイニ鐵道の要衝リダノグルドック、ニメーニ河岸のオラルヤスロニム及びボルコヴイスクなどの諸邑を陥入れシンスク、フレストレリウスクのヤレヴイツチ停車場を占領した

一、南方においては西部ウライナの鐵道の要地サルニールーク、スタンスラウ、オウガリツチクラ、ネプイハハなどを占領したポボウ及びビイルノに向つて進擊中である

波軍ラトビヤに敗走

（リガ十八日同盟）ポーランド國境に近いダンガウピルスからの報道によれば、東部國境を守備してたポーランド軍は、突如侵入を開始したソ聯軍の爲め各所に敗退、十八日にに國境を越えて多數兵士がラトビア領に逃亡、國境に於てラトビア官憲に武裝解除された旨言はれる、尚ポーランド機六十機も越境、ダンガウピラス附近に着陸沒收された模様である、又敗殘兵と共にポーランド人民の避難民も七日夜以來續々ラトドア領に入り込んで來てる

ポーランド首脳部

佛蘭西に逃避か

（ニューヨーク十八日同盟）ユービー通信ポーランド、ルーマニア國境ツエルナウチよりの報道によれば 最にルーマニア領へ逃入せるモシスキー大統領、スミグリー元帥、ベツダ外相以下ポーランド政府最高首脳部の一行は既にルーマニア領よりブダペストへ向け出發、更にパリーへ向ふ豫定といはれる

八項目の諒解

獨ソ間に成立濟み

（ニューヨーク十八日同盟）APベルリン電によれば、獨ソ兩國間にはポーランド占領後の處置につき、八項目の完全な諒解が成立したと云はれる、主なるもの左の如し

一、ポーランド領に自然的境界を確定する

一、ポーランド政府施政下の小數民族の地位は各民族の民族的發展の線に沿つて改訂する要あり

一、獨ソ兩國のみが、單獨で新秩序建設の義務を負ふ

一、ポーランドは從來ともに獨ソ兩國の自然的勢力圏にあり、獨ソ兩國のみがポーランド國領土の再建に關心を有する

一、獨ソ兩國はポーランドに對し獨ソ間の干渉地帶として小領土の維持を許可するかも知れぬ、但し右はポーランドの態度如何にかゝつてゐる（以下略す）

空襲被害者に英政府の補助

（ロンドン十六日R）英本國が空襲の惨害を被つた場合英政府は長期戰下における國民生活の安定を計るため國内一切の物價運賃資金などを九月十八日現在の價格以上に引上げを禁止することになり十九日の閣議で右に關する國家總動員法第六條第十一條第十九條の各條項を發動することに決定、今月下旬總動員審議會の議を經た上十月早々關係勅令を公布、直ちに實行することとなつた、右は低物價政策をいよいよ本格化したものとして注目される

（東京十九日同盟）政府は長期戰下における國民生活の安定を計るため國内一切の物價運賃資金などを九月十八日現在の價格以上に引上げを禁止することに決定、今月下旬總動員審議會の議を經た上十月早々關係勅令を公布、直ちに實行することとなつた、右は低物價政策をいよいよ本格化したものとして注目される

（東京十九日同盟）十九日の閣議で決定した物價、運賃等の引上げ禁止による總動員法發動の内容は大體左記綱領による方針である

一、國家總動員法第六條第十一條及び第十九條に基く特令により價格、運賃、保管料、保險料、加工賃、賃銀及び給料は三つに掲げるものを除く他總て昭和十四年九月十八日に於ける額を超えて引き上げる事を禁止する、但し右の期日は内地の家賃及び地代については昭和拾三年八月四日朝鮮の家賃及び地代については昭和十三年十二月三十一日とする

二、引上げ禁止を行ふ期間は勅令施行の日より一ケ年とする

三、關東洲滿洲國及び中華民國以外の第三國との間の輸入價格例へば生絲の輸出價格の如きは今回の價格引上げ禁止より除外される全様の主旨により第三國との間の貿客の運賃等も除外される、又賃銀及び給料については昭和拾三年八月四日朝鮮の家賃及び地代についてはは昭和十三年十二月三十一日とする

二、引上げ禁止を行ふ期間は勅令施行の日より一ケ年とする

三、關東洲滿洲國及び中華民國以外の第三國との間の輸入價格例へば生絲の輸出價格の如きは今回の價格引上げ禁止より除外される全様の主旨により第三國との間の貿客の運賃等も除外される、又賃銀及び給料については昭和拾三年八月四日朝鮮の家賃及び地代についてはは昭和十三年十二月三十一日とする

戰時經濟統制方策

諸物價引上げ禁止決定

來月早々勅令を以て公布

（東京十九日同盟）十九日の閣議で決定した物價、運賃等の引上げ禁止による總動員法發動の内容は大體左記綱領による方針である

一、國家總動員法第六條第十一條及び第十九條に基く特令により價格、運賃、保管料、保險料、加工賃、賃銀及び給料は三つに掲げるものを除く他總て昭和十四年九月十八日に於ける額を超えて引き上げる事を禁止する、但し右の期日は内地の家賃及び地代について

（東京十九日同盟）政府は長期戰下における國民生活の安定を計るため國内一切の物價運賃資金などを九月十八日現在の價格以上に引上げを禁止することになり十九日の閣議で右に關する國家總動員審議會の議を經た上十月早々關係勅令を公布、直ちに實行することとなつた、右は低物價政策をいよいよ本格化したものとして注目される

本日のトピック

戰雲濃く垂れ込めた歐洲の天地、猫の眼の様に變る國際情勢、何といふ目まぐるしい世の中だ、それがビンビン吾々の生活に關係して來るから安閑たり得ない、英佛ソが軍事同盟の話最中ソはその當面の敵獨と間髪を入れず不可侵協定を結んだ、それと前後して極東に於けるソ聯は所謂日軍に勝算がなく、ポーランド侵入がより効果的とみて日ソ停戰の戰線約を締結した、全く一日半日の豫想を許さぬソ聯外務人民委員モロトフの大芝居は時し、茲に一ザールブリューケン大會戰」として歴史に殘る決戰が果して來るか否か、世界舞台の立役者となつてゐる

社會的地位階級の如何を問はず空襲被害者の獨身者には毎週十八シリング、家族者（夫婦子供二人の構成家族）には毎週二十八シリング六ペンスを支給する

英航空母艦コーラジエオス號

獨潜水艦に撃沈さる

（ロンドン十八日同盟）英國海軍省の報告によれば航空母艦コーラジエオス號は、バルチック海に於て獨乙潜水艦に襲撃され沈沒した

航空母艦は一九一六年バルフワスト製艦所で、巡洋艦として進水したもので二二、五〇〇噸あつた一九三六年全部最新式に改裝されて航空母艦となり、四十八機搭載一二一六名の戰闘員を乘せてゐた、飛行甲板は百四十六米突のもの

北歐四國外相對策を協議す

（コペンハーゲン十八日同盟）十八日北歐諸國はソ聯軍のポーランド進駐により相貌を一變した歐洲政局に對し急遽對策に腐心しつつあるが、デンマーク、ノールウエー、スエーデン及びフインランドの北歐四ケ國は十八日デンマーク首都コペンハーゲンに於て北歐四ケ國外相會議を開催、北歐諸國の採るべき共同の措置につき協議を開始した

西部戰線戰況

（巴里十八日同盟）當地軍事筋消息通の情報によれば獨佛國境方面十八日の戰況は左の如くである

一、西部戰線は終日平穏であつたが之は明かにソ聯軍のポーランド進駐に影響されたものでドイツ軍は之によつて卅乃至卅九個師團の兵力を東部より割き得ることとなつた

一、ドイツの大增員部隊は既にザール、ブリューケンの中心となる各陣地に到着した

一、東南部方面に於てはブリーズ河に沿ひ獨逸軍の偵察は活動愈々活潑となり同方面の佛軍陣地を偵察せんとするのやうである

一、佛軍は今後も現在の陣地を死守し近く行はれんとする全線に亘る獨逸軍の大反擊を待ち構えてゐる

太平洋上不穏

日米開戰の危機

（東京十八日U・P）今日の國民新聞は左の如き論説を掲げた。北米合衆國は根本に向つて何等對抗せぬ様注告する殊て血の穢した事のない唯一のなら日米間に戰爭の危機が發生するものと信ずる。太平洋は未だ嘗て國際戰場となつてゐるのである。現在の日米間の緊張は日本の法量、ムソリニー首相、米のチョッカイなどの仲裁工作は大阪城に吹矢程の價値もないであらう、結局決戰は避け得まい。然らばその時機は？早くてこゝ一週間以内とトピック子は睨んでる、何故か、それは一に獨軍の輪送が未だその數に達しない、こゝ一週間たてば先づ獨の荒鷲軍はパリー、ロンドンを一齊に空襲し、英佛の人心を恐怖せしめてから地上部隊の本格的決戰に移る作戰と觀られる。伯林を始めパリー、ロンドンが爆彈の見舞を頂戴せぬ間は西部戰線に異狀なしといふところであらう

ルーマニヤ政府

國境地帶へ百万派兵

（コペンハーゲン十七日同盟）ソ聯軍はポーランド駐屯に隣國ルーマニアに多大の恐怖をあたへてゐるが、十七日コペンハーゲンに達したルーマニア方面よりの報道によればルーマニア政府は目下積々國境に居り、その戰況は百万を突破した、と云はれる、ルーマニアとしてはソ聯軍の西方派兵によりソ聯軍がルーマニアに對しベツサラビヤの失地回復要求を持出すれば、一方ドイツはルーマニアと直接國境を接するに至ればルーマニアの石油獨占をねらつてくるやも知れず戰々兢々の態度である

米大統領聲明

利益範圍安全領海制限

両擴大

（華府十六日U・P）歐洲大戰勃發と對照して北米大擴領土を與へた、パナマ運河地帶の防禦問題の討議も關聯し、未だ國家の利益範圍安全攀大の問題にすぎない

統領の斯の不時の聲明はラテン・アメリカ諸國に或衝動を與へた、パナマ運河地帶の防禦問題の討議も關聯し、未だ國家の利益範圍安全攀大の問題にすぎない

寺内大將ヒ總統と會見

（ベルリン十七日同盟）寺内大將は隨員三名を帶同、十七日午前十時十分イタリアより

バルチック諸國ソ聯起つの報に驚く

（ストックホルム十七日同盟）ソ聯赤軍のポーランド進駐によつて招來された新情勢はバルチック諸國に異常な衝動をあたへたが、ソ聯にこの企圖あることは數日前より既に危線に軍隊を集結しつつありと傳へられる

ソ聯赤軍のポーランド進駐となり、十七日ストックホルムに達した情報によれば、エストニア、ラトビア兩國は万一を慮つて自々ソ聯との國境に軍隊を集結しつつありと傳へられる

藍衣社に二下り半

江正源、重慶脱出

（北京十八日同盟）藍衣社のすべて自宜言、北京新民會中幹部江正源は蔣政權の暴乱に愛想を尽かし、十九日藍衣社の離脱は汪兆銘の中央政府工作の進捗と相俟つて重慶政府の内部崩壊に迫車をかけるものとして重視される

興安地區に重砲彈の洗禮

（南昌十九日同盟）興安地方の占領を目的とせる敵乾敵を急追撃滅せんとする我竹内以下諸部隊は一部をもつて興安城に迫る一方十八日夜徹背の强行軍によつてその主力は十九日早朝數十騎となつて〇〇江岸に進出し興安より雪崩を打つて潰乱する敵敗走部隊に壯烈な重砲彈を見舞つつあり又興安西方に進出せる池田、木島部隊の一部も興安拔準公路を潰走し來る敵を捕捉撃滅中である

（南昌十九日同盟）興安北方地區に於ける我軍の包圍殲滅網は十九日午前八時現在同網中六ケ師三十粁に壓縮され網中六ケ師

悲觀した國府抗戰陣

ソ聯への頼みも夢

（香港十八日同盟）重慶より情報によれば日蘇停戰協定と共に對蘇を協議し、駐蘇大使張群、孫科、宋子文等要人は汪兆銘、孫科、宋子文等要人

歐洲移民の入伯と絶で

日本移民の誘入策は？

フォーリャ紙又も一流の毒舌

伯國、殊に聖州が農業勞働者不足の爲困惑してゐる事は周知の事實であるが、之が今次の歐洲戰爭により歐洲移民の入國は全然不可能となり益々その惱みは深刻となつて來てゐる。移植民審議會に於てもこれが對應策として種々考慮中であると傳へられてゐるが、或ひは歐洲移民に換ふるに日本移民を以てするのではないかとの說もあるやうである、右に關し本日のフォーリャ紙は「移民政策」と題して左の如き論說を掲げてゐるが日本移民に對しては例の如く毒舌を振つてゐる

過日の移植民審議會では最も重要なる提案が討議せられたと傳へられてゐるが、それは移民の集團、その集團地及び同化に對する制限案であつたやうである

戰爭勃發と共に航海は極度に減少し又歐洲では時節柄移民を送るなど悠長なことは云つて居られない狀態である、伯國へは今后イタリヤ人はもとよりスペインもポルトガルもハンガリヤもレトニヤは一切移民を送らないであらう、しかもそれに代るべき日本移民は入國制限で年に四千人にも出來ると直ぐ退耕して自分の土地を購入するだから歐洲移民は勿論聖州農界に貢する所は甚だ僅少であるそれは日本移民を投じて彼らに土地を提供する樣なもので農界の勞働者不足緩和策としては何等の役に立たない

借地或ひは土地所有の目的を持つて居るからである、耕地に入つても日本移民は二、三年就働　數コントスの蓄財が出來ると直ぐ退耕して目分の土地を購入するだから歐洲移民の增加せしむることは聖州が金を投じて彼らに土地を提供する樣なもので農界の勞働者不足緩和策としては何等の役に立たない

伯棉と日本

"日本市場なくして伯棉の將來性なし"

「オ・エスタード」紙の論說

植付時期を目の前にひかへた伯國棉作者が、現在最も心配するのは果して來年の棉が例年通りの値を以つて賣れるかどうかと云ふ事である、歐洲の情勢は日一日と惡化する許りで今后の成行きは豫測は出來ないが、歐洲各國がこの戰爭にまき込まれ、一九一四年の如き世界大戰に迄進展し得る可能性は充分ある樣に思はれる。その曉に於て現在でも益々危險が增大しつつあるが、海上の交通は殆んど杜絶するに至るのではないかとさへ、最惡の場合を豫想すれば云へない事もない。最早獨乙墺伯國の通商は英佛の獨封鎖に依つて斷絶され、毎年多量の伯棉を購入してゐた獨に對しては絶體に棉の輸出は絶望である、英佛も亦然り。然らば伯棉の顧客は、只日本のみと云はざるを得ぬ。

右に關し、本日の「エスタード」紙は左の如き論說を掲げてゐる

聖州は今や棉の植付準備を開始してゐるが、各地の情勢を綜合した所によると、例年よりもその植付面積は增えしたる樣である、現下の歐洲の經濟狀態を深く檢討して見ると、その情勢より察して伯棉を購入し得るや否やは豫測を許さないが現在に於ては左の如き結論はなし得る

聖州は以上に本年迄は伯棉の顧客であつた獨逸は到底來年度は伯棉を購入し得ないであらうと思はれる、最善の場合を豫想しても伊太利船その他中立國の船舶に依つて輸入する外ないのだが、それもその諸本國が中立を持續せる場合のみの事である

一方英佛であるが、それは外交上、又其の他の關係で主に北米棉を購入する事は想像に難くない所である

かくの如く思推すると、目下の所最も有望なのは日本であるが、日本の世界棉花購入の割合を見ると第一位が印度棉次に北米棉、支那棉の順序で伯棉は第四位を占めて居るしかも印度棉、北米棉の輸入は減少する一方でそれに反し伯棉の輸入は增加の一路をたどつて居るが、支那からの輸入も激增する一方で大陸政策が進捗すると共に支那に於ける棉花生產も著しい增加を示して居る樣である

本年日本の聖州棉輸入量は昨年一月より七月末までサントス港のみからでも既に六万噸に達し今后の日伯通商關係は、日本が伯棉の最大顧客である事を如實に示してゐるもので、歐州動亂の續く限り日本との棉花取引は伯國の唯一の生命線であるのみならず今後の日伯通商關係は兩國民の爲に必要缺くべからざるものである

來年度の伯棉が、日本の消費者の表彰方を考究中であつたが鄭七十四議會に於て國案の提出を見たに鑑み愈よこれが實行に取かかることとなつた

表彰の規定、範圍は滿州、支那をのぞく海外（北米、中米諸國、南米諸國、南洋その他）に十年以上在住し特に移植民事業に貢獻ありたるものにして現に海外に生存せる者、死亡せし者、又歸國し居る者（歸國後死亡せし者も非常に廣範圍にわたつてゐる）

因みに拓務省では海外に在る各縣海外協會支部その他會社團體等に對し前記規定の情勢より察して伯棉を購入し得るや否やは豫測を許さないが現在に於ては左の如き結論はなし得る

戰爭と南米

伯國以外は大儲け

（ロンドン發十八日）　一英經濟誌の觀測

英國の有力經濟雜誌（經濟時報）は「南米と戰爭」と題して現下の歐洲動亂が南米諸國に及ぼす影響に就き、左の如き見解を述べて居る

▲熱帶地方に於ける產科研究の目的を以て過般來伯した比嘉醫學士は歐洲に動亂勃發の爲、豫定旅程であるドイツ行を斷念近くアフリカ經由歸國の途につくことゝなつた

▲珈琲地帶の不況はさることながら、ジュキア線のバナナ產地もバナナの歐洲輸出が全く中止狀態となり値は三十以下に下つて此處も又えらい不況ぶりだと

▲お百姓で比較的の景氣の良いのは郊外の野菜作り、冬で野菜の無い故もあるがこれも好値を示してゐる

▲昨日からウフアで封切りされた「ハラキリ」豫想通り紙面を割いてゐたが、十九日役者の扮裝その他相當に變チクリンなもので見に行つた邦人連顏あかるめて「うつひいて」

▲日伯對抗に就てオ・エスタード紙は四日間ぶつ續けて紙面を割いてゐたが、十九日品及び各種鑛物類の輸出等を擧げる事が出來るが伯國だけは例外である、それは國國の主要生產物たる珈琲が、日常必需品ではなく、しかも獨逸市場を失ふことは、正に致命的である

獨逸封鎖に依つて、今後互惠獨逸通商條約は目然に廢棄され米北が通商の戰場となるであらうアルゼンチンは、英國及びその植民地に、肉類を輸出して、巨利を占むる事は疑ひを入れない、意ウルガイ及びアルゼンチンは、夢國と英大な取引契約を締結すると思はれる、目下の處、ウルグワキの輸入制限に就て何等の報道はないが、食料品及び原料品に依つて受ける利益は些少ではあるまい

ラテン・アメリカ諸國は戰爭　依つて利益を得る事は甚だ多い、即ち食料品等は奥に落ち込んで熱鬱した口腔を潤ほす

▲ジョゼー　ガスパル・デアフオンセッカ大司教は去る十七日午后四時、初の聖市入りをした其の爲當日の聖市は大變の混雜を來したこれも好値を示してゐる

▲日本人ばかりの出迎をうけて山王ホテルに這入つた（十九日聞盟）